



9/24 ヒンドゥー教の讃歌「バジヤン」を歌ってみよう



⑥

コーラム
床絵を描く

10/9 インドの日常の祈り



⑦



⑧



⑨



- ①「水なしの第11日目」という祭日におこなわれた24時間の『ラムチャリットマーンサ』の詠唱(ビハール州ガヤー、2015年、虫賀幹華撮影)
- ②③「春の九夜」の最終日(ラーマの誕生日)に向けて、夜を徹して続けられたドゥルガー女神への祈り(デリー、1984年、田中多佳子撮影)
- ④「喜びの第11日目」という祭日に寺院に集まった信者たちのバジヤンの会(ラージャスターン州ウダイプル、2023年、三尾稔撮影)
- ⑤クリシュナ生誕祭に家庭で催されたクリシュナ神へのバジヤンの会(ウツタル・プラデーシュ州アラールハーバード、2016年、虫賀幹華撮影)
- ⑥⑦⑧1月収穫祭・ボンガル祭りの時期のコーラムのある風景(アーンドラ・プラデーシュ州、2016年、永田郁撮影)
- ⑨1月収穫祭・ボンガル祭りの時期のショッピングモールの風景、寺院に掲げる供物とコーラム用の色粉が置かれている(タミル・ナドゥ州、2016年、永田郁撮影)
- ⑩⑨のショッピングモールの簡易寺院とその前に描かれたコーラム(タミル・ナドゥ州、2016年、永田郁撮影)

Bhajan



シヴァ神をグル(師匠)として集う女性たちが神への礼拝と讃歌を捧げる「シヴァ・チャルチャー」(ビハール州ガヤー、2015年、虫賀幹華撮影)



ヒンドゥー教の讃歌「バジャン」を歌ってみよう

神と人との交流の手段として、神への讃歌は重要な役割を担ってきました。讃歌にこめられた意味をまなび、実際に歌いヒンドゥー教の世界を体感します。

9/24
Sunday
14:00-15:30

日時: 2023年9月24日(日) 14:00~15:30
会場: みんなくインテリジェントホール(講堂)

講師: 三尾 稔(本館 教授)
ミーター・パンディット
(北インド古典音楽声楽家・Somaiya 大学教員)
虫賀 幹華(京都大学白眉センター 特定助教)
林 怜王(タブラー奏者)

対象: 高校生以上

参加費: 無料

定員: 30名(事前申込制、先着順)

受付期間: 2023年8月30日(水) 午前10:00より、定員に達し次第受付終了

※申込方法について、詳しくは裏面をご覧ください。

当日のスケジュール

13:30~14:00 参加者受付

(みんなくインテリジェントホール(講堂)にて)

14:00~14:10 オリエンテーション / 特別展趣旨説明

14:10~15:25 バジャンについて解説 / バジャンを歌う

15:25~15:30 まとめ / 記念撮影

※ワークショップ中に特別展示会場の見学はありません。



虫賀 幹華
(京都大学白眉センター
特定助教)

ヒンドゥー教史を専門とし、聖地や儀礼、祭りについて研究。2014年からインドに留学し、2019年にアラーハーバード大学より博士号(文学)を取得。北インド古典音楽にも関心を寄せている。



ミーター・パンディット
(北インド古典音楽
声楽家、Somaiya
大学教員)

北インド古典音楽グワーリヤル流派の名家に生まれる。これまでインドおよび25カ国で公演。数多くの受賞歴をもつ。インド国内外で若手の育成にも励んでいる。



林 怜王
(タブラー奏者)

幼少期よりインドで暮らし、2010年よりデリーにてアクラム・カーン氏に師事。2016年、第141回ハリヴァッラパ・タブラー・コンテスト優勝。インドと日本を中心に演奏活動をおこなっている。

Kolam



左: 1月収穫祭・ボンガル祭りの時期のコーラム(アーンドラ・プラデーシュ州、2016年、永田郁撮影)

右: 1月収穫祭・ボンガル祭りの時期のホテルの祭壇とコーラム(タミル・ナドゥ州、2016年、永田郁撮影)

インドの日常の祈り 床絵を描く

床絵は神を家に招き入れるために描きます。インド各地の家々では神との交流の重要な手段としておこなわれています。色の粉をつかい、床絵の文化をまなびます。

10/9
Monday
13:00-16:15

日時: 2023年10月9日(月・祝) 13:00~16:15
会場: 特別展示館地下休憩所

講師: 三尾 稔(本館 教授)
永田 郁(崇城大学芸術学部 教授)
安森 大樹(ルーテル学院高等学校 非常勤講師)

対象: 小学校3年生以上
※汚れても良い服装でお越しください。

参加費: 500円

定員: 15名(事前申込制、先着順)

受付期間: 2023年9月6日(水) 午前10:00より、

定員に達し次第受付終了

※申込方法について、詳しくは裏面をご覧ください。

当日のスケジュール

12:30~13:00 参加者受付

(特別展示館地下休憩所にて)

13:00~13:35 オリエンテーション / 特別展趣旨説明

13:35~16:05 床絵(コーラム)を描く

16:05~16:15 まとめ / 記念撮影

※ワークショップ中に特別展示会場の見学はありません。

※描いた床絵(コーラム)は10月17日(火)まで実施場所にて展示いたします。

展示期間中の作品撮影は不可となっております。

(参加者の当日撮影は可能です)



三尾 稔
(本館 教授)

1986年東京大学教養学部卒業、1992年同大学院総合文化研究科博士課程を中退し、同大学教養学部助手に着任。2003年本館准教授に着任。特別展「交感する神と人ーヒンドゥー神像の世界」実行委員長。インドにおける宗教と文化に関する調査研究をおこなっている。



永田 郁
(崇城大学芸術学部
美術学科 教授)

2004年名古屋大学大学院文学研究科博士後期課程修了。2007年崇城大学芸術学部准教授に着任。古代インドの民間信仰を調査の対象に南インド・スリランカの宗教遺跡のフィールドワークをおこなっている。



安森 大樹
(ルーテル学院高等学校
非常勤講師)

2016年崇城大学芸術学部美術学科卒業。2018年同大学院芸術研究科修士課程修了。2021年同大学院博士課程修了。

<申込方法>※先着順で受付します。

【イベント予約サイト】

当館ホームページのイベント予約サイトより
お申込みください。（代表者含め2名まで）



イベント予約サイト▶▶▶

【往復ハガキ】

往復ハガキに下記項目を記入の上、各ワークショップ
受付期間の初日以降に到着するようお送りください。
※各ワークショップにつき、ハガキ一通をお送りください。
※応募できるのはどちらか一方のワークショップのみです。
※受付期間より前に到着した分については受付することが
できません。
※受付期間は中面をご確認ください。

①ヒンドゥー教の讃歌「バジャン」を歌ってみよう

※2名参加の場合は、2名分のご記入をお願いします。
※1・4は返信用宛名面にもご記入ください。

- 1 参加者氏名
- 2 ふりがな
- 3 年齢
- 4 郵便番号・住所
- 5 電話番号（緊急時連絡用）
- 6 音楽経験がありましたらお書きください（任意）

②インドの日常の祈り 床絵を描く

※2名参加の場合は、2名分のご記入をお願いします。
※1・4は返信用宛名面にもご記入ください。

- 1 参加者氏名
- 2 ふりがな
- 3 年齢
- 4 郵便番号・住所
- 5 電話番号（緊急時連絡用）

【往復ハガキの送付先】

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10-1
国立民族学博物館 企画課 博物館事業係
「特別展関連ワークショップ ○月○日参加希望」

<お問合せ>

企画課 博物館事業係 ワークショップ担当
Tel: 06-6878-8532（9時～16時 土日祝除く）

【特別展示】

交感する神と人
— ヒンドゥー神像の世界

2023年9月14日(木)～12月5日(火)

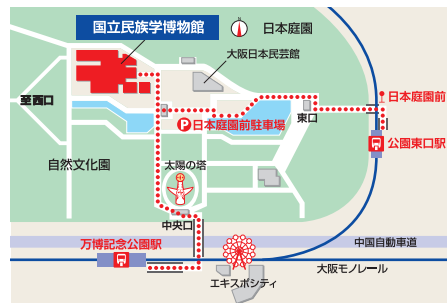
ご利用案内

- 開館時間
10:00～17:00(入館は16:30まで)
- 休館日
水曜日(水曜日が祝日の場合は、翌日が休館)
- 特別展観覧料.....
一般 880円/大学生 450円/高校生以下 無料
*観覧料割引についてはホームページをご確認ください。
*本館展示もご覧になれます。

交通のご案内

- 大阪モノレール.....
「万博記念公園駅」、「公園東口駅」下車徒歩約15分
- バス.....
阪急茨木市駅・JR茨木駅から「日本庭園前」下車徒歩約13分
- 乗用車.....
万博記念公園の駐車場(有料)をご利用ください。最寄りの
「日本庭園前駐車場」から徒歩約5分

※大学生・一般の方は万博記念公園各ゲートで、当館の観覧券を
お買い求めください。同園内を無料で通行できます。
※高校生以下の方、国立民族学博物館友の会会員の方は万博記
念公園各ゲート有人窓口で、みんぱくへ行くことをお申し出い
ただき、通行証をお受け取りください。
※万博記念公園をご利用になる場合は、同園入園料が必要です。



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

〒565-8511
大阪府吹田市千里万博公園10番1号
企画課博物館事業係
Tel: 06-6878-8532 Fax: 06-6878-8242
Mail: workshop@minpaku.ac.jp
https://www.minpaku.ac.jp/